

施策の進捗管理シート

令和 3 年度

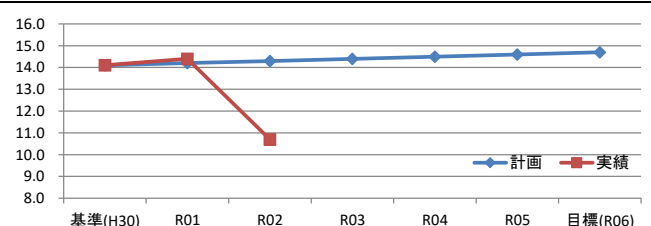
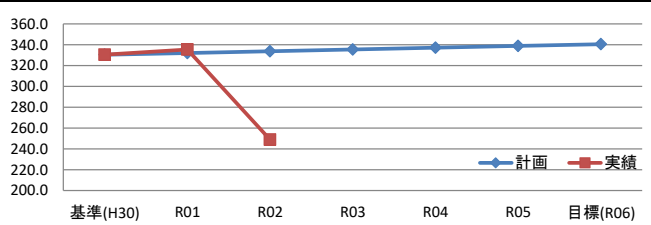
総合 体系 計画	分野	2	第 2 章	災害に強く、安心で利便性が高い暮らしが実感できるまち	施策統括課	交通政策課
	施策No.	11	施策名	市民生活を支える総合交通体系の確立	課長名 (施策統括責任)	大塚 智樹
	関係課	交通政策課 交通局				

1. 施策の目標

めざす姿 (成果目標)	市民は、公共交通機関を快適に利用でき、主要な場所へスムーズに移動することができる。
取組方針	市民がスムーズに移動できるように、バスを中心とした利便性・効率性の高い公共交通ネットワークを構築するとともに、市民、交通事業者、行政等が連携・協力しながら、地域の特性に応じた多様な公共交通の実現を図ります。地域間交流の促進や産業の振興のため、九州佐賀国際空港の利用促進を図るとともに、九州新幹線西九州ルートの整備のあり方について、佐賀県をはじめ関係者と連携していきます。

2. 施策の意図と成果指標

対象（誰、何を対象としているのか）*人や自然資源等	市民					
意図□この施策によって対象をどう変えるのか	市民が公共交通機関を快適に利用でき、主要な場所にスムーズに移動することができる。					
成果指標 A						単位
公共交通機関（バス）の利用者数						万人
H30 基準	R01 計画 実績	R02 計画 実績	R03 計画 実績	R04 計画 実績	R05 計画 実績	R06 目標
330.4	332.1 335.4	333.7 248.9	335.4	337.1	338.8	340.5
成果指標 B						単位
市民一人当たりの公共交通機関（バス）の利用回数						回
H30 基準	R01 計画 実績	R02 計画 実績	R03 計画 実績	R04 計画 実績	R05 計画 実績	R06 目標
14.1	14.2 14.4	14.3 10.7	14.4	14.5	14.6	14.7



3. 市民意向調査結果

施策の重要度	前回	今回	
重要である	53.4%	49.6%	↓
ある程度重要である	35.5%	36.7%	↑
あまり重要ではない	3.9%	5.4%	↑
重要ではない	0.3%	0.6%	↑
順位	7/36位	12/36位	↓

施策の満足度	前回	今回	
満足している	3.7%	3.5%	↓
どちらかといえば満足	30.8%	31.7%	↑
どちらかといえば不満	35.7%	37.5%	↑
不満である	15.7%	13.9%	↓
順位	35/36位	35/36位	→